
蕃国別伝

伽納

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蕃国別伝

【Nコード】

N9553G

【作者名】

伽納

【あらすじ】

『蛮』族として、北方の覇者恵国から虐げられている名もなき民族がいた。別伝では、南方の盟主蘭国の援助を受けての民族反乱から独立、そして建国までを描く。時代が移り変わる中、青年も変貌を遂げる。

序

ざらざらする、そうつそぶきながら趙匡ていけいは馬を進める。眉をひそめる彼に対して、馬首を並べる慶華けいかはずつと笑んだままだ。

「お気に召さないようだね。私はまあまあ気に入ったけれど」

「こんな土じゃあ何も育たないじゃないか」

「都と国境、二つを鑑みたうえで適しているのはここしかないよ。いざとなったら蘭らんに駆け込めるから」

「…消去法ってやつですか」

「そうそう」

のんびりと頷く慶華。

趙匡はおもしろくなさそうに、口中の砂を吐いた。

「この周辺しか土地がないのも皮肉なこつた」

これも全て『蛮』族と呼ばれている民族の悲しさゆえか。

雲行きが怪しくなったのは先月のこと。恵都けいに行商で赴いていた男が報を携えて急遽引き返してきたのだ。

吉報ではなく、凶報である。

王の病、篤し

報を聞いて、趙匡の脳裏にめぐったのは国による人狩り。国家が『蛮』族を乱獲し、王の死後の世界の従者とするのである。もちろん、虜となった者は王の棺近くに生きてまま埋められることとなる。村の老人の昔話の中で、もつとも惨い話だ。

人狩りの難から逃れる術すべは、今のところ『逃げる』しかなく、どこの話を聞いてもこの選択肢すべしかないようだ。

幸いなことに、牧畜を主とする民族である。土地にしがらみはなく、移住することも容易であった。新たな土地を探すため、長の命を受けて二人は村を後にした。

それが六日前のこと。

「とりあえず、ここと最初に行ったところを候補にして長に報告し

よう、いいね」

慶華の口調には悲壮感がまったく感じられない。のんびりと馬の顎を撫でてやり、微笑む。

趙匡は横目で彼と彼の愛馬を見ていたが、

「ああ、そうだな。急いで戻ろう」

村まで馬を飛ばして四日ほどかかる計算だ。これまでとこれからの行程を思い浮かべ、休みなしで自分を乗せて駆ける輝輝ひかりに趙匡は心中で謝った。

北の覇者は恵、南の盟主は蘭、西方には閉ざされた国鄒すが位置している。三国の周辺にはいくつかの小国があり、それぞれ付き従っていた。

三つ巴の争いともいうのが、三国は些細な小競り合いはしているものの、表立った軍事活動はしておらず平穏な時代であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9553g/>

蕃国別伝

2010年10月9日23時27分発行